課題解決の筋書（ロジックモデル）

ケニア国 自動車リサイクル事業の テストマーケティングにかかるビジネス化実証事業
会宝産業株式会社（石川県金沢市）

資源（Input）

人
- 自社の作業時間
- 現地パートナーの作業時間

モノ
- 解体工場・設備
- ELV
- オークション会場
- 日本から輸出の中古部品

カネ
- 自社資金
- JICA資金
- 現地パートナーの資金

無形
- 解体技術
- KRAシステム
- 自社ネットワーク
- 現地パートナーネットワーク
- JICAネットワーク

活動（Activity）

- 市場調査
- ELV調達先とのNW構築
- 日本からの中古部品輸出
- 素材・部品販売先とのNW構築
- 設備投資
- OJT・研修を通じた人材育成
- 政府向け啓発活動

結果（Output）

- ELV調達・解体
- 解体にて回収された素材・部品の販売
- 日本から輸出された部品の販売
- 現地パートナーとの合弁会社設立
- 解体プラント設立

成果（Outcome）

短期（～1年）

- ELVより回収された素材・部品が修理に使用される
- トレーサビリティが担保された部品へのアクセスが可能になる
- 適切な部品が見つからず修理できていなかった車の修理が可能になる
- 素材・部品のマーケティングができる人材が育成される
- 適切に解体できる場所が確保される
- 適切に解体できる人材が育成される
- リサイクルへの認知向上

中期（～3年）

- 自動車の修理が増加し、耐用年数が延びる
- ELV解体～素材・部品のビジネス可能性を見出したリサイクル業者が増加する
- ELV解体～素材・部品販売のバリューチェーンが強化される
- 解体キャパシティーの増加
- 自動車リサイクルに関連する法制度が整備される

長期（～5年）

- リサイクル・リユースが増加する
- 交通（車両）の安全性が高まる
- ケニアにおけるELV回収量が増加する
- ケニアにおけるELV解体量が増加する

開発ゴール

- SDGs 8.4 資源効率の改善
- SDGs 12.4 環境に配慮した廃棄物管理
- SDGs 4.4 人材育成